

2017年3月 近畿旧友会ハイキングクラブ「燦歩会」例会（第457回）

さんぽかい

「たま電車に乗って、あら川の桃花を観に（和歌山）」

3月26日（日）天気予報は曇り後時々雨。降り始めが遅いように祈りながらの燦歩です。参加は、女性3名を含め15名でした。

9時55分 和歌山駅9番線から、和歌山電鐵 貴志川（きしがわ）線に乗車します。車両には、真っ赤なイチゴのマーク。貴志川線名物「いちご電車」です。



車内の装飾もイチゴづくめ。イスのクッションも、イチゴ模様です。

この線は元来南海電鉄が経営していましたが、2003年に赤字解消が困難と路線廃止を表明。岡山の両備グループが経営を引き継ぐことになり、「和歌山電鐵」が設立されました。その際のモットーは「日本一心豊かなローカル線」。地元自治体、沿線住民・学校関係者、商工業者で構成する運営委員会を設けて、様々な要望・意見を経営に生かす事にしたのです。その中で2006年に生まれたのが、特産イチゴをモチーフにしたこの「いちご電車」です。デザインを担当したのは、鉄道のデザインを多く手掛けている岡山出身の水戸岡鋭治さん。続いて2007年には「おもちゃ電車」、そして2009年に登場したのが「たま電車」です。幸いにも途中の駅で出会えたので、チラ見です。（去年から「うめ星電車」も走っています）



さて、この貴志川線の人気者は何と云っても終点貴志駅に勤務する「たま駅長」です。元々駅構内の倉庫で飼われていた「たま」を2007年に駅長に任命。人気が沸騰して、それから1年間の経済効果は11億円に昇ったとか（関西大学研究室の試算）そして「ネコノミクス」なる経済用語も生まれたとか。

跡継ぎの「たまⅡ世」通称「ニタマ」に替わった今も絶好調、この日も多くの観光客が訪れていました。駅構内には、「たまカフェ」やグッズショップも設けられ、大人気です。



そして、駅舎そのものも猫の顔をモチーフにしているのです。屋根は優美な曲線の檜皮葺。目と鼻の所にはステンドグラスがはめられ、口の部分が、出入り口です。私たちも、早速集合写真です。

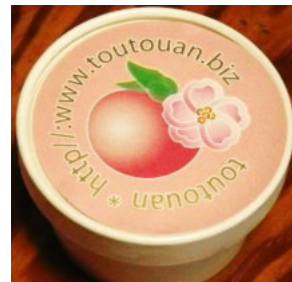


15人の内、何人かの動きと表情がちょっと可笑しく見えませんか？セルフタイマーの10秒の間に、トラックが走って来たのです。（右端 黄枠と赤矢印の所）私たちはシャッターと同時に「被ったか？」と思い、苦笑いの瞬間です。

昼食後、もう一つの目的地「あら川の桃畑」に向かいます。例年通りならば、桃花のピンクのじゅうたんが見られる筈です。この辺り、紀の川市「桃山町」。それほどに、桃作りが盛んな所です。江戸時代半ばに、摂津の池田から桃の樹を導入し、それが紀の川の豊富な水、水はけの良い肥沃な土質、温暖な気候、など好条件の下で、栽培面積が増加しました。味や食感が佳い上に傷みにくく棚持ちが良いという事で、和歌山だけでなく、大阪を始め全国に出荷されるようになったのです。

和歌山県によれば、現在、西日本最大の桃の産地は和歌山県。  
中でも、「あら川」を中心とする紀の川市で最も多く生産されているとの事です。  
「あら川の桃」は平成6年に商標登録されています。

「桃畑」に近づいた所で、ちょっと休憩。  
桃のジェラートのお店です。  
桃のまろやかな香りの美味しいジェラートでした。  
実は写真を撮り忘れ！！



(食べるのに夢中で、お恥ずかしい)  
土産に買ったジェラートの写真で代用します。  
よろしければ、蓋に掲載されたホームページをご覧ください。  
なお、そのホームページに、私たちの集合写真も早速掲載されています。

さて、期待の桃畑。 残念！！ 残念！！  
例年になく今冬の寒さで開花が遅れ、未だ「蕾固し」の状態でした。  
心にピンクのじゅうたんを思い描き、「あら川の桃」の豊作を願いながら、  
降り出した小雨の中を、帰途につきました。

\* \* \* \* \*

ちょっと足りなかった所を補足します。

#### その1

この辺り桃源郷と云われ、そこここに桃の樹が植えられています。  
幸い気の早い樹もあり、花が咲いていたので。せめてもの慰めに。



#### その2

立派なお社があったので、ご覧ください。三船神社です。  
土地の産土神で、御船（みふね）とも記されています。  
この辺り、古くは安楽川荘（あらかわのしょう）という  
荘園で、鳥羽天皇の皇后美福門院から高野山に寄進され、  
明治になるまで高野山の領地でした。  
火災に遭っていた社殿は、戦国の世も収まってきた頃、  
天正18（1590）～慶長4（1599）年に再建されます。  
豊臣秀吉の帰依を受けて、高野山の座主木喰応其（もくじきおうご）上人が、高野山の伽藍の  
復興を進めるのもこの頃です。三船神社の再建もその一環だったのでしょうか？  
息を呑むほどに鮮やかに彩られ、様々な彫刻が見事です。  
桃山時代の形式・手法を示す社殿として、国の重要文化財に指定されています。



時々登場願う「紀伊国名所図会」に「御船社祭」の大賑わいが描かれていました。  
これだけ地域が豊かであり、人々の信仰が篤かったという事なのでしょう。



\* \* \* \* \*

## ご案内

旧友会員の方、職員の方、入会大歓迎です。

入念な下見を行い、中途離脱も可能なルートを設定して、**毎月第4日曜日**に歩いています。

メンバーはおよそ50名、その日の都合と体調に合わせて自由参加です。

### 2017年度の予定

- 4月 シャクナゲの室生、大野（奈良）
- 5月 渡船も楽し、此花トレイル（大阪）
- 6月 膳所めぐり 歴史旅（滋賀）
- 7月 石の宝殿と鶴林寺（青春18切符利用 兵庫）
- 8月 暑さを避けて休会
- 9月 コスモスの斑鳩三塔（奈良）
- 10月 吉備路の旅（1泊）
- 11月 京都一周トレイル（9回の第1回）
- 12月 納会
- 1月 道明寺天満宮で初詣（大阪）
- 2月 どんづる峰を訪ねる（大阪・奈良）
- 3月 御坊と道成寺（青春18切符を利用 和歌山）

参加ご希望の方は、山村恵一さんにご連絡下さい。（電話 0743 - 20 - 4159）  
ご一緒に気軽に楽しく歩きましょう。

生島(おじま)幸弥